

函館花絵本

作:いすず製作所



函館花絵本

作:いすず製作所





函館のある町に、お花が大好きな女の子がいて「こっちゃん」と呼ばれてました。

春が来て、こっちゃんのお家のシクラメンは元気がなくなってきました。

お母さんは

「もう春だもの。シクラメンはお休みよ。また冬に咲いてくれるからね！」といました。

「そっか！もう春だもんね！」

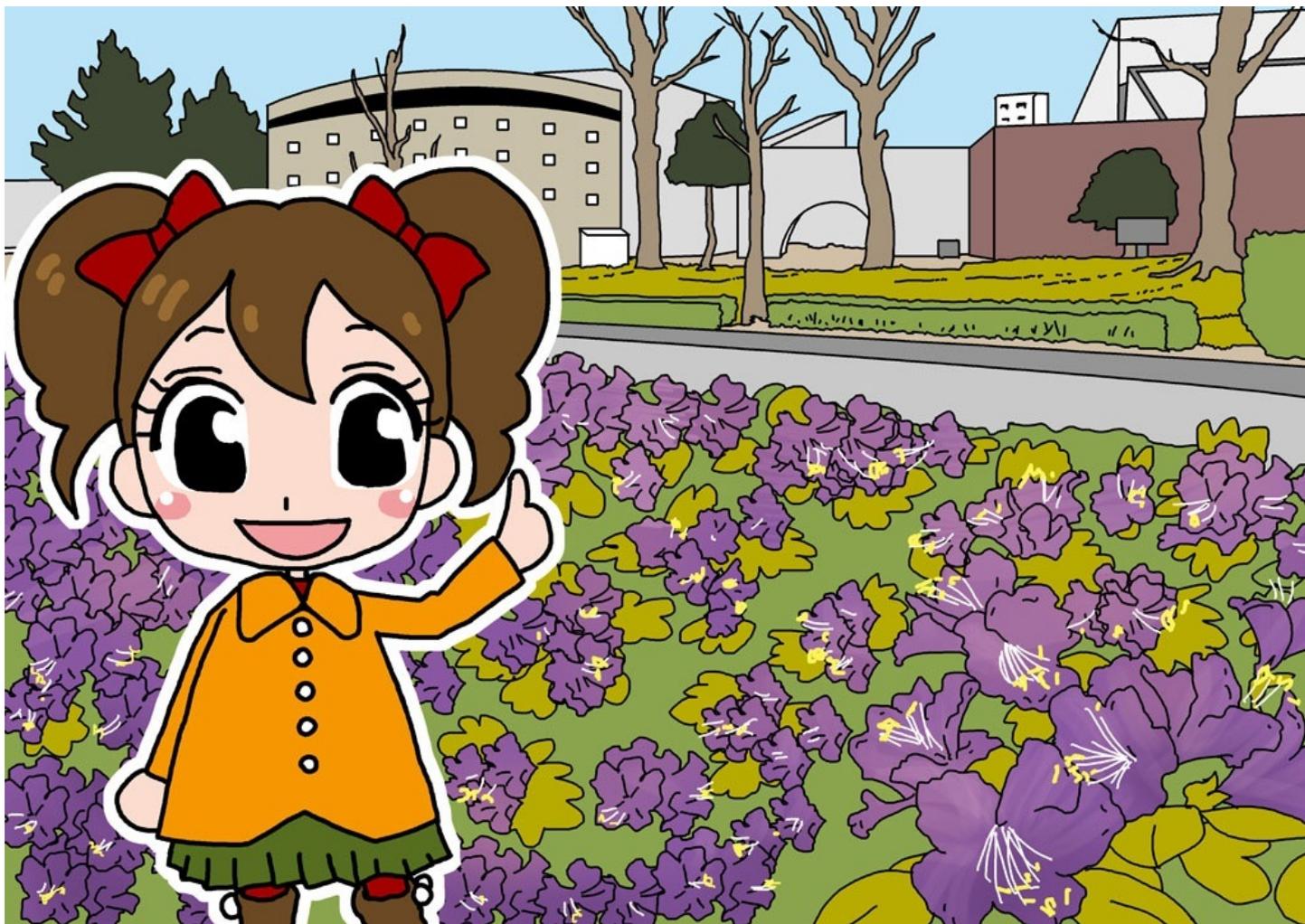
雪はすっかり解けて、温かくなってきました。

春が来たのです。

春なら、お花もたくさん咲くでしょう。

こっちゃんとお母さんは、今度、お花を観に行く約束をしました。

・・・今度、今度っていつかしら？



風の強いある日、こっちゃんとお母さんは五稜郭公園の前に来ました。

ムラサキ色のお花がたくさん咲いています。

お母さんはいました。

「このお花は、エゾムラサキツツジと言ってね、他のツツジよりも早く咲くんだよ。」

こっちゃんは『一等賞のツツジだ!』と思い、お花を褒めてあげました。

こっちゃんと、お母さんはゆっくり歩きました。

これからどんどん温くなるんだなあ~と思うと嬉しくて、のんびりした気持ちになったのです。

お母さんは、今度はおばあちゃんとサクラを観に行くよといいました。



だいぶ温かくなったある日、おばあちゃんも一緒に五稜郭公園に来ました。
公園には人がたくさんたくさんいて、桜の花がたくさんたくさん咲いています。
人もいっぱい、花もいっぱい！
おばあちゃんが楽しそうに言いました。
「さくらが咲いたら、藤もツツジもどんどん咲くね。観て歩くだけで大忙しだよ！」
長い冬の間、じっと我慢していた花達が、これからどんどん咲くのだそうです。
こっちゃんはドキドキしました。
目の前にはたくさんのサクラが咲いているのに
もうすぐ違うお花がどんどん咲くというのですから！とても楽しみです。

お母さんは、今度はお父さんと藤を見に行くよと言いました。



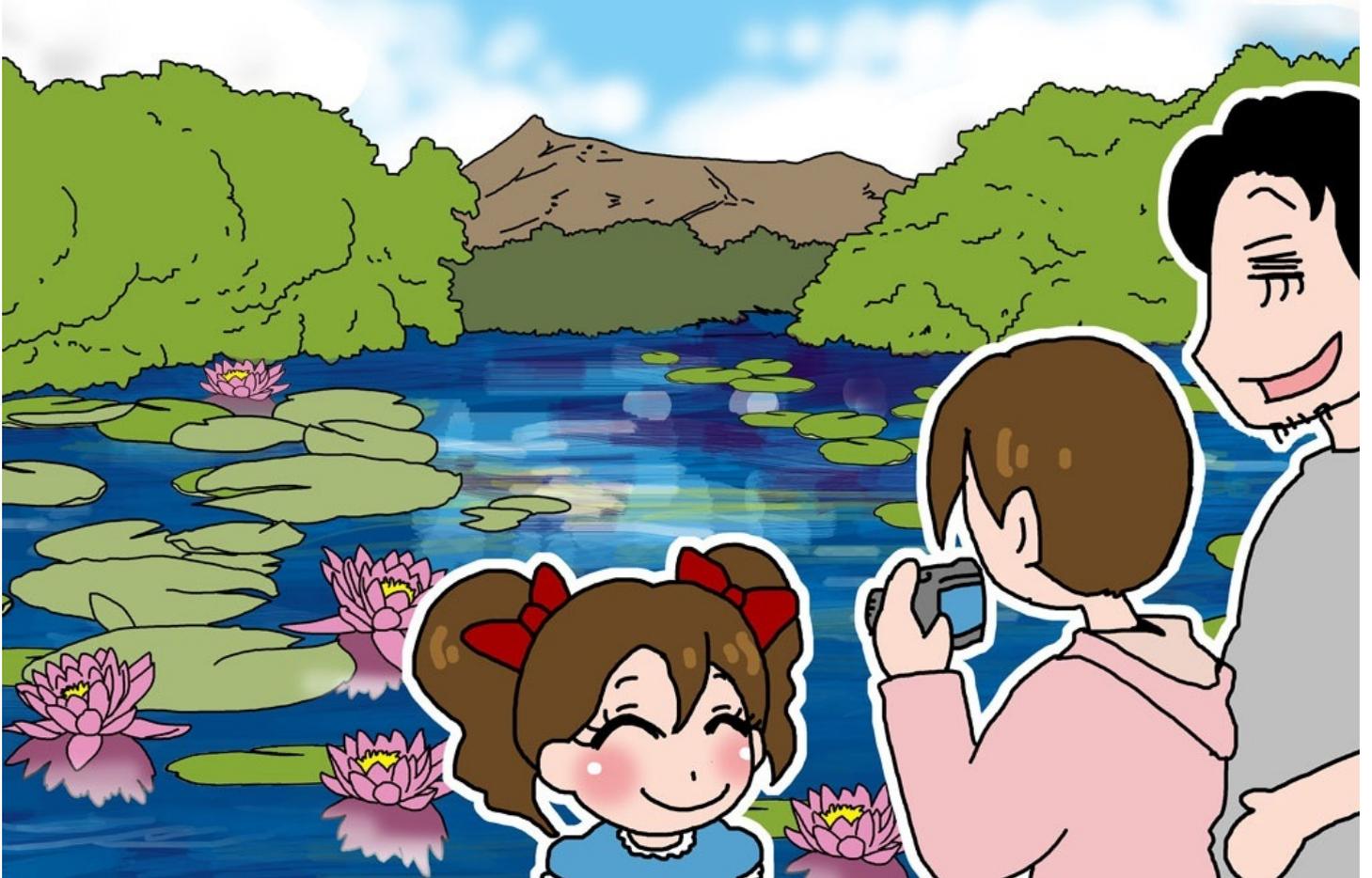
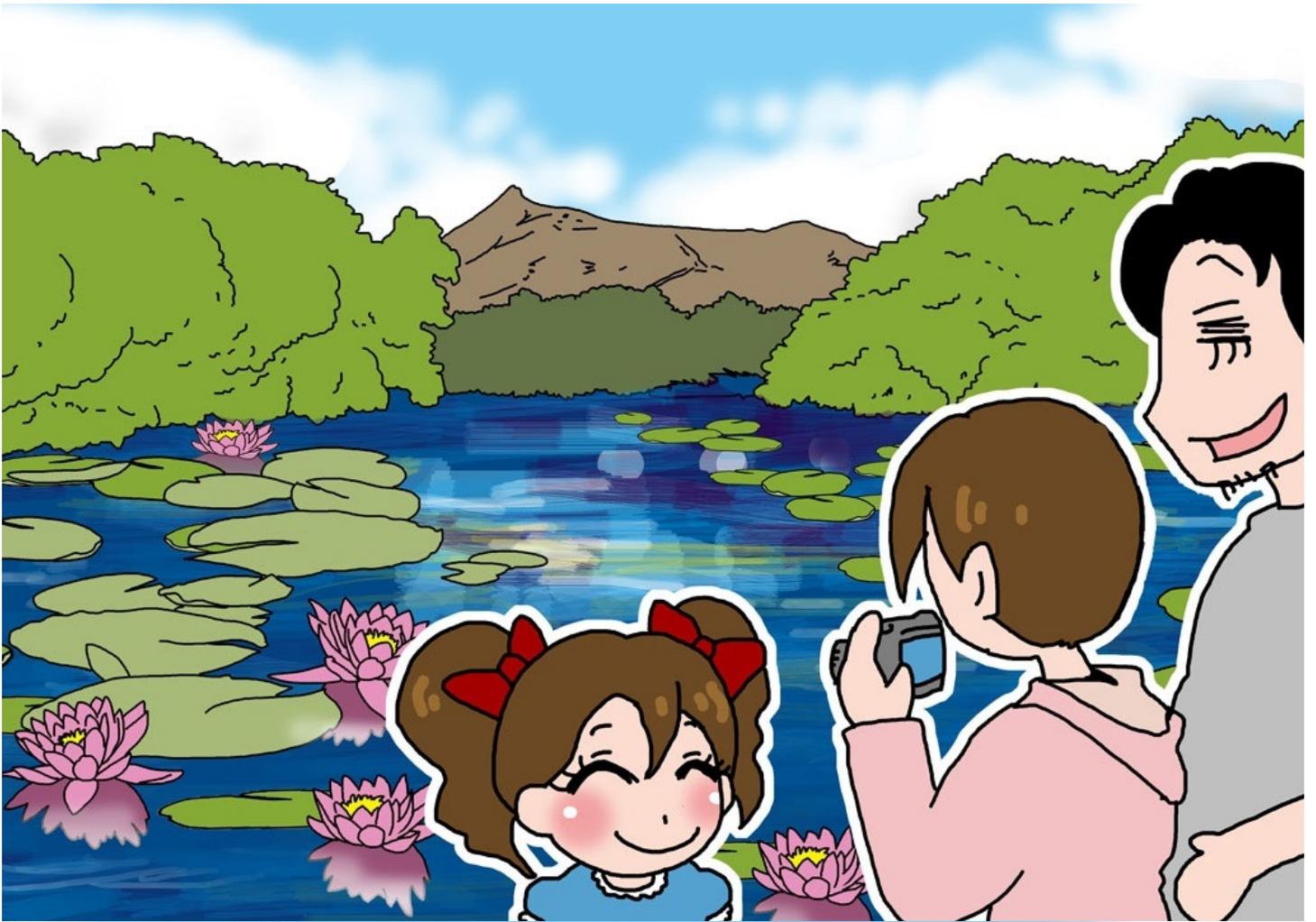
のんびりとしたある日、お父さんと一緒に五稜郭公園に来ました。
ついこの間は、ピンク色した桜の花が咲いていたのに、桜はもう葉っぱだらけになっています。
同じ場所なのに、全然違う風に見えます。

今日は橋を渡り、お堀を越えました。

「うわああ!!!」
藤棚には藤の花がたくさんぶらさがってます。
ムラサキ色をした、お花のトンネルです!

お父さんが肩車してくれて、こっちゃんのごきげんさん。

お父さんは、今度大沼に連れて行ってけるといいました。



お母さんがごきげんのある日、大沼公園に来ました。

久しぶりの大沼公園です。

『前に来たときは、お花なんて咲いてなかったんだけどな。どこに咲くのかな？』

そう思いながらボート乗り場を通り過ぎたら、水面に蓮の花が咲いてました。

はじめてみました。

ピンク色したお花が水に映るのも、水に浮かんだ葉っぱが丸いのも、こっちゃんはとても気に入りました。

湖の向こうには「駒ヶ岳」も見えます。

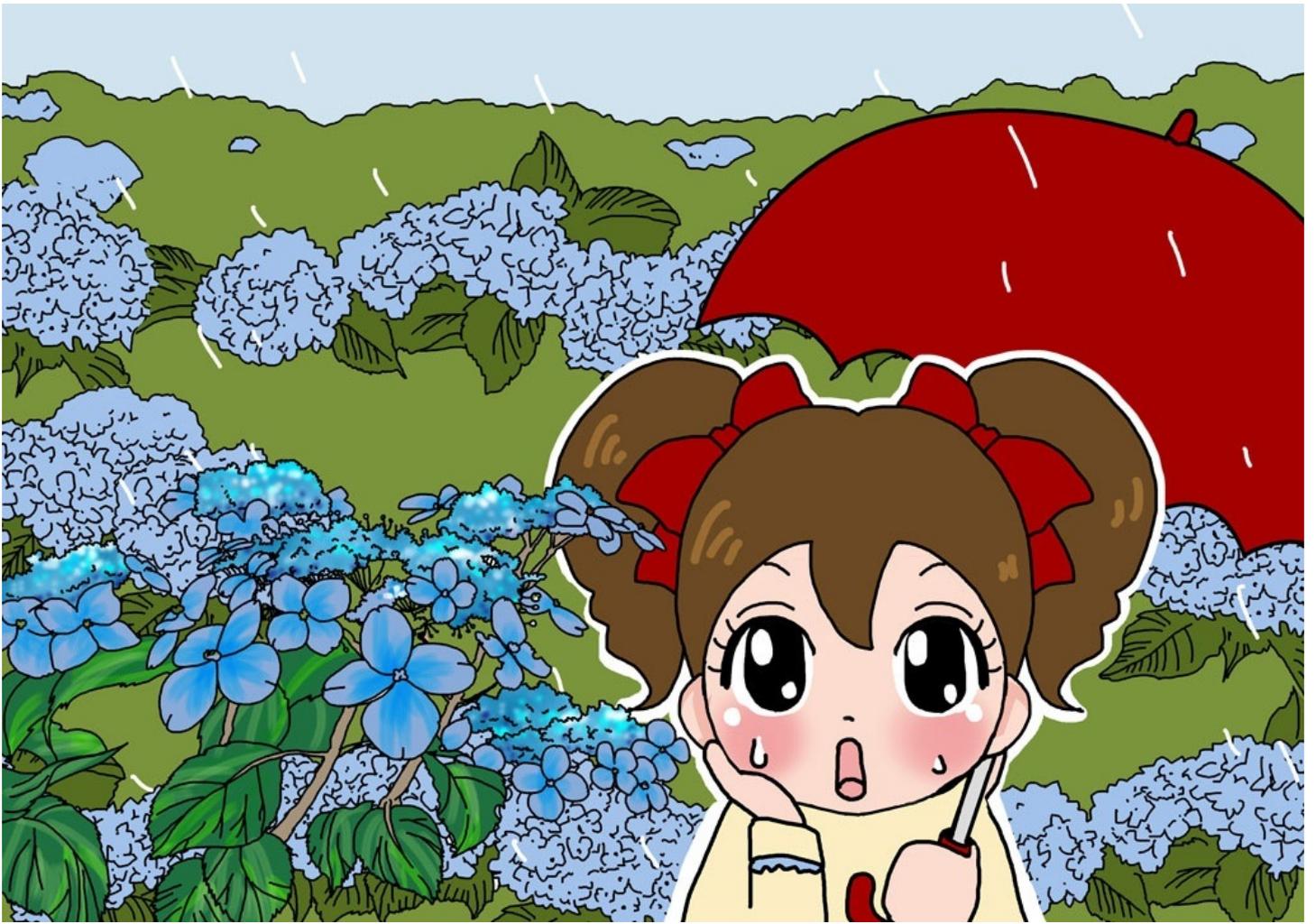
お父さん、こっちゃん、お母さん。

三人でゆっくり歩きます。

こっちゃんの笑顔を観て、お父さんもお母さんも、笑顔。

大沼だんごを食べながらお母さんが

今度は、あじさいを観につれて行ってくれるといいました。



小雨の降るある日、市民の森公園に来ました。

雨は降ったり止んだり。

お母さんはカッパを着なさいというけど、こっちゃんちょっと嫌。

赤い傘がお気に入りなんです。

「早くお花みようよ！」

たっったー・・・と、駆け足で公園へ。

「すごーい!!!」

こっちゃんは、びっくりしました。

アジサイがたくさん咲いているのです。

あじさいは近所にも咲いているけど、ここはあじさいのお花畑です！

同じアジサイでも、ガクの形がちがうもの

お花がとんがるもの、たくさんの種類がありました。

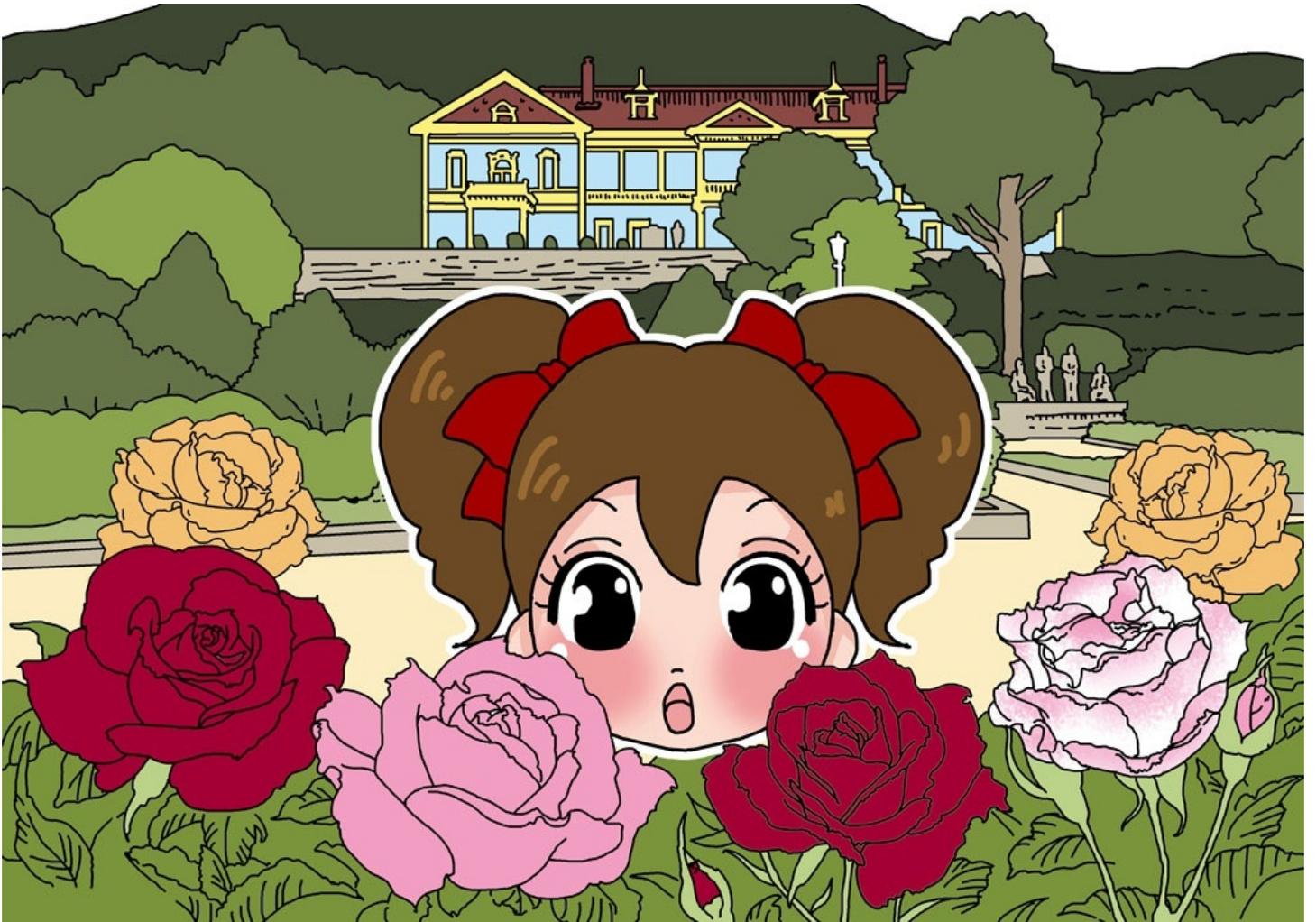
お花のいろも、青やピンク、白もあってさまざまです。

「こっちゃん、いろんな色があるね～」

「うん！ぜーんぶキレイ!!!」

「バラの花もいろんな色があるんだよ～」

お母さんは、今度はバラを観に連れて行ってくれるといいました。



だいぶ暑くなったある日、こっちゃんとお母さんは元町公園に来ました。

坂を歩いて登ると、汗が出てきます。

こっちゃんは『なんでこの坂の地面は、石が並んでるんだろう？でこぼこだー！』と、地面ばかり見て坂を上りました。

がんばって歩いていくと、ソフトクリーム屋さんが並んでいます。

こっちゃんとお母さんは公園のベンチに座って、ソフトクリームを食べながらバラを観ました。

本当に、バラはいろんな色がありました。

花びらの形もちょっとづつ違いました。

ソフトクリームがついてベタベタする指で花びらをさわったら、とてもすべすべしました。

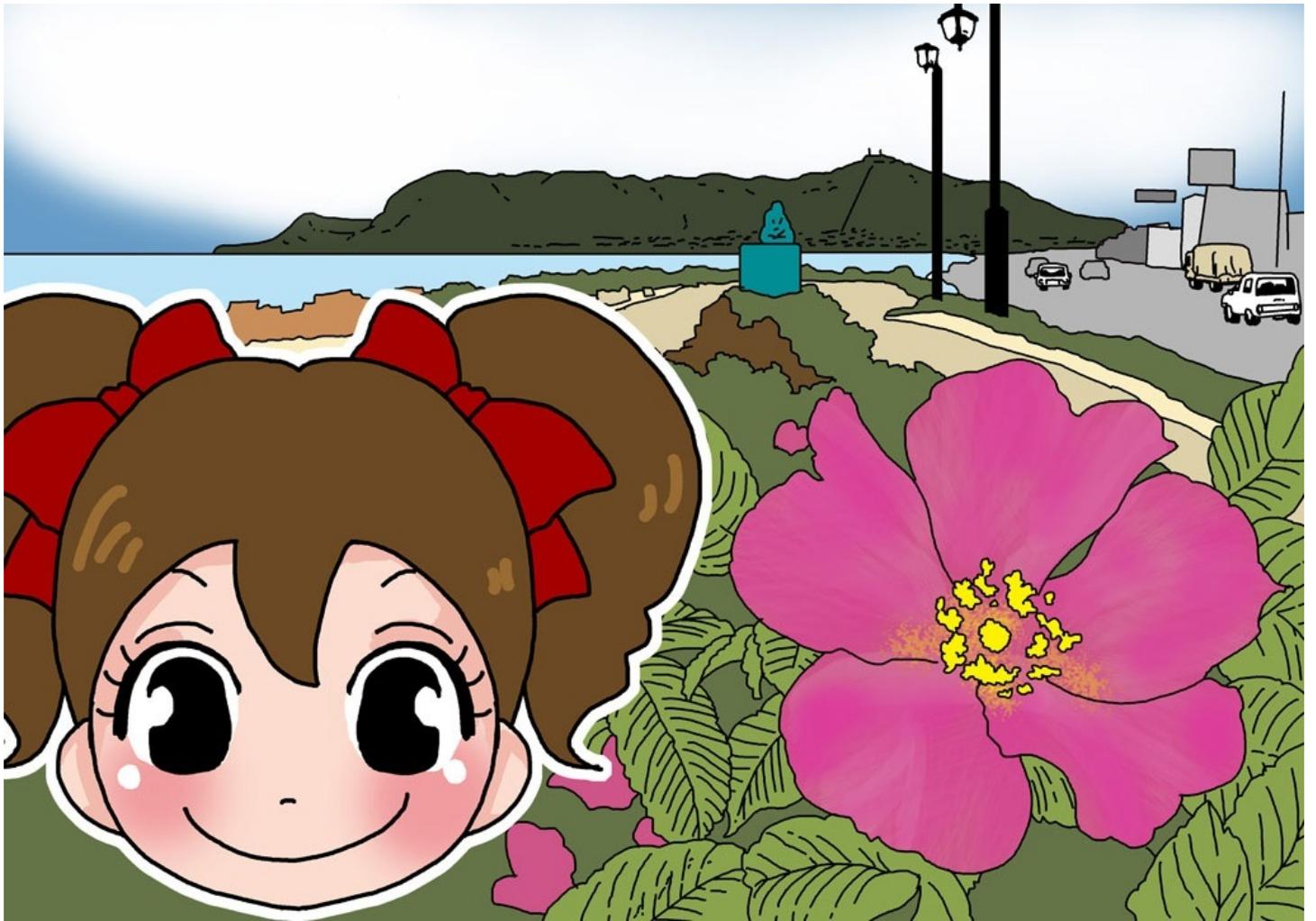
公園から見える、黄色い建物は「公会堂」だと教えてもらいました。

「暑いね」

「うん！でもお花元気だね！」

汗をふきながらお母さんは、今度は海の花を見に行こうと言いました。

海に花なんて咲くのでしょうか・・・？



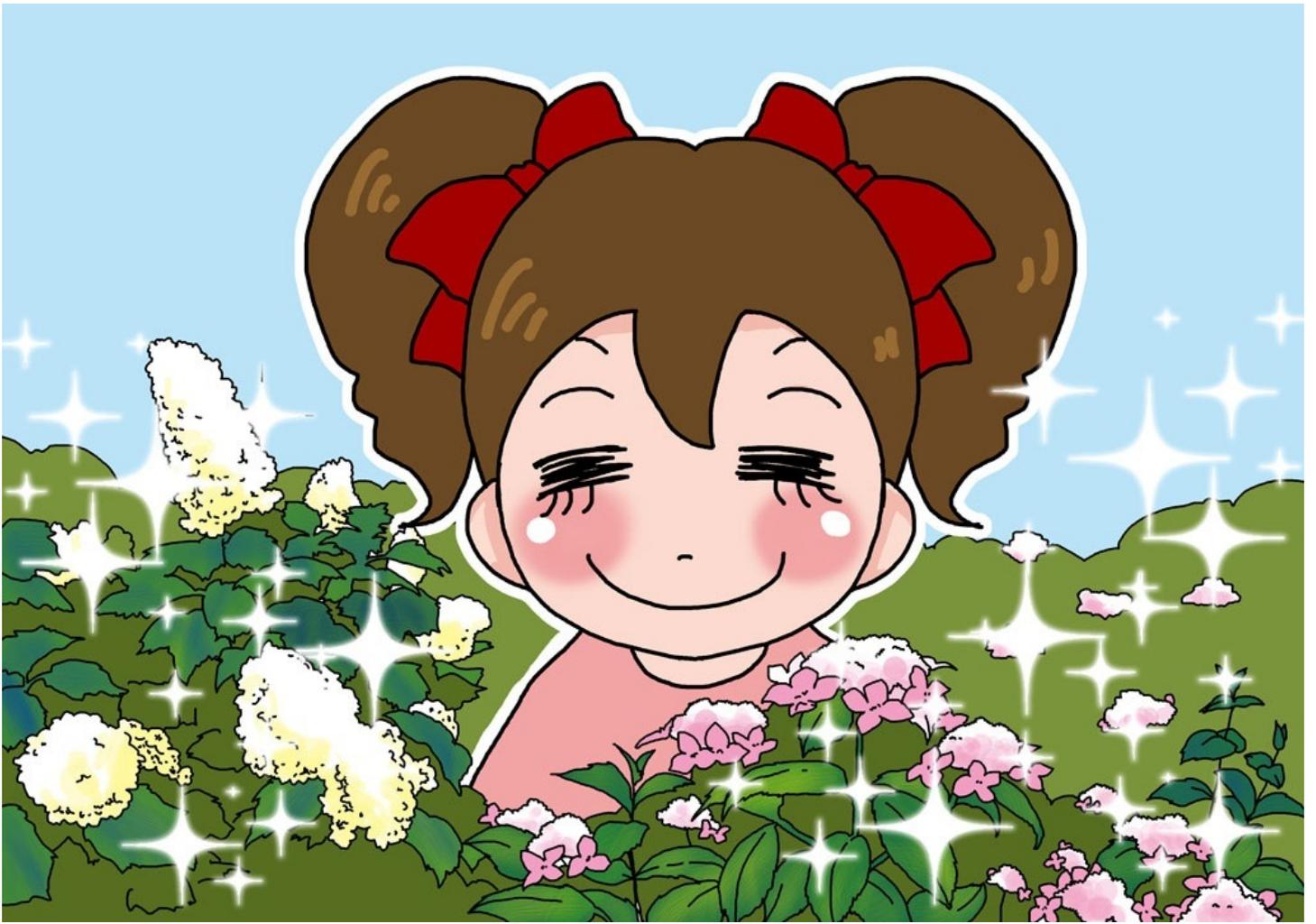
とても暑いある日、海が見える石川啄木公園に来ました。
公園には、赤いお花が咲いています。
潮風に揺れる花びらの色がとてもきれいで、目をひきます。
ハマナスというお花です。
「トゲがあるから気をつけてね！」

ハマナスも、キレイ。
きらきら光る、海もキレイ。
大森浜から見える函館山もキレイです。

おでかけは、いつも楽しくなります。
ご機嫌になったなってこっちゃん、お母さんの手をぎゅーっと握りしめていました。

「楽し！」
「うん、楽しかったね」

お母さんと手を繋いで帰りました。



帰り道、お母さんが言いました。

「春から、夏にかけてたくさんのお花を見たね。」

どのお花もきれいで、思い出すと笑顔になれます。

函館は小さな街ですが、いろんなお花が咲きます。

まだまだたくさん種類があります。

こっちゃん『キレイなお花がたくさん咲く函館は、キレイな街だなあ。』と思いました。

函館の楽しい春と、キレイで短い夏を満喫したお母さんがいいました。

「こっちゃん、また今度、また今度、おでかけしましょうね。」

次はどんなお花が観れるかな。

どんな色かな？

想像すると、楽しみです。

こっちゃんは、笑顔でお家に帰りました。

おしまい

函館花絵本

<http://p.booklog.jp/book/38481>

著者 : isuzumikami

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/isuzumikami/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/38481>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/38481>

電子書籍プラットフォーム : ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.